

フォトエッセイ#107

横浜市こども植物園

クラシックローズガーデンの

モダンローズ(1867～)ゾーン

この日は本当に幸運 まさに見ごろ!!!
本当に、見事な「咲きっぷり」です
このゾーンの全てのバラの姿を
ご覧に入れたくなりました

あまりに生育がいいのでお行儀が悪くなった
花後に、秋に向かって剪定しなおす・・・
そうです

2024.5.9

島田祥生

モダンローズ(1867~)ゾーン

ハイブリッド ティー系統 (HT) の第1号である「ラフランス」が誕生して以後、交配が盛んとなった1980年までのモダンローズのエリアです。



聖火(HT)



シャルルドゥゴール(HT)



ラフランス(HT)



プリンセス ミチコ(F)

1867年以降に作られたバラをモダンローズと言います。「ラフランス」のような、完全な四季咲き性を受け継ぐバラが多く作出されました。モダンローズの代表的な系統である大輪のハイブリッド ティー系統 (HT) や、小輪房咲きのポリアンサ系統 (Pol)、その交配で生まれた中輪房咲きのフロリバンダ系統 (F) などがあります。このゾーンはそのうちの1980年までの品種を集めました。これらにはHTやFが多く、色のバリエーションが豊かで長く愛されています。日本でも「聖火」を機に交配が盛んになり、世界的にも交配がより盛んになった時期です。

~バラの交配に革命をもたらした中国のバラ~

バラといえば一般的にヨーロッパの花というイメージですが、私たちが目にする改良品種のバラの誕生には中国原産のバラが大きく関わっています。18世紀末に中国から持ち込まれた品種はヨーロッパになかった、四季咲きという重要な性質をもたらしました。これらのもととなっているのは庚申バラこうしんと考えられています。また、ロサ ギガンテアはティーの香りいんべんと剣井けんせいという性質をもたらしました。



聖火

1980年 日本



ラ フランス
1867年 フランス

Zone モダンローズ (1867年~)

完全四季咲き性を確立したハイブリッドティー系統 (HT) の第1号「ラ・フランス」が誕生して以降、交配が盛んとなった1980年までのモダンローズのエリア。中輪房咲きのフロリバンダ系統 (F) もあり色のバリエーションが豊か。

◆ラ・フランス (HT)

大輪、四季咲き性のため当時話題に。ハイブリッド・ティー第1号として記録された。この品種以降、一般的にはモダンローズと呼ばれる。

◆聖火 (HT)

1964年東京五輪をイメージして京成バラ園芸が作出。開花とともに全体が赤くなる。

◆シャルル・ドゥ・ゴール (HT)

花名は元フランス大統領の名前にちなむ。濃いラベンダー色で強香、花つきがよい。

◆プリンセス・ミチコ (F)

美智子上皇后が、まだ皇太子妃だったときにイギリスの育種家から捧げられたバラ。



Charies de Gaulle

シャルル ドゥ ゴール

1974年 フランス



プリンセス ミチコ

1966年 イギリス



アキト

1974年 ドイツ

アキト'

1974年

アキト



フリーズア

1977年 ドイツ



Royal Highness

1962年 アメリカ



つる ピース

1949年 アメリカ





Landora

1970年 ドイツ



Love

1980年 アメリカ



Blue Moon

1964年 ドイツ



ミスター リンカーン

Mister Lincoln

1964年 アメリカ



White Christmas

1953年 アメリカ



彩雲

1980年 日本



カクテル

1957年 フランス



Ophelia

1912年 イギリス



Charlotte Armstrong

1940年 アメリカ



Virgo

1947年 フランス



たそがれ

1970年 日本



Vesuvius

1923年 イギリス



ブライダル ピンク

1967年 アメリカ



Ellen Willmott

1936年 イギリス



つるアイスバーグ
1968年 イギリス



このゾーンの紹介は
植物園のリーフレットにお任せしてしまいました
「雑音なしで」鑑賞していただけたかと思えます

手抜きするつもりはなかったのですが
公園のような演出がないもので
なんともナレーションが入れにくいこともありまして、と
言い訳をさせてください

聖火

1980年 日本